



拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会
会長 見野 光

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 65

令和4年 3月 10日

新型コロナウイルス感染防止のため、サロン活動を見合わせております。

シリーズ：新型コロナに負けるなー特別編。第六波と3回目のワクチン接種について

1月中旬からのオミクロン株による第六波の勢いは凄まじいものがあります。ピークは過ぎたようですが、高止まり感があります。まん延防止等重点措置が1月25日(火)から3月21日(月)までの期間、適用されています。つい最近、感染力が強いとされるオミクロン株の一種、BA.2が札幌市で確認されました。依然として予断を許さない状況です。一方で、3回目のワクチン接種が進んでいます。新しい治療薬も出てきています。基本の予防対策の徹底と共に、これらの希望に期待しましょう。

■ 総務部より ■

・この冬の福祉除雪の状況から

記録的な大雪のこの冬、福祉除雪利用世帯は昨年より20以上増え107世帯となりました。これに対し地域協力員は、個人が41名、企業・団体では地区の1福祉施設、地区の2企業、地区外の1企業という状況で、昨年より6名、1団体の増加でした。協力員数が少ないため掛け持ちするケースもありました。次の冬はより多くの皆様にご協力いただけるようお願い致します。



壁のように高く積まれた道路脇の雪、分厚い屋根の雪

・オンライン用機材の設置について

新型コロナの影響で集合型行事や多人数での会議の開催が難しい状況が続いています。

地域ケア部では一昨年秋から試行も含めオンラインによる月例研修会を続けてきましたが、社協として福まちの部屋にネット通信機器と大型モニターを設置し、来年度から福まちの部屋を発信場所としてオンラインによる研修会や会議を開けるよう準備を進めて参ります。

- ・電話福祉相談を、毎週月・水・金曜日(祝祭日以外)の10時から12時まで受け付けています。電話番号は778-0778です。

■ ふれあい交流部より ■

1月から3月までに開催を予定していた3回のみまわりクラブは中止しました。なお、高齢者対象の福まちサロンは今年度行いません。

■ 地域ケア部より ■

- ・昨年末の12月例会は、21日(火)18:30-20:00、終活シリーズ第三回「民生委員の現場レポート：近所でこんなことが起きている」をテーマに、高崎正則(拓北・あいの里地区民生委員児童委員)さんをゲストに行いました。参加者は13名。民生委員として篠路町篠路・拓北地区の65歳以上対象者94人を担当してきた経験をもとに、さまざまな困りごとを抱える地域の住民を発見し、身近な相談者の立場から係わり、福祉の専門職の方へつなぎ、シビアな問題に取り組んできた事例を報告していただきました。
- ・1月例会は、18日(火)18:30-20:00、終活シリーズ第四回「あれから27年、神戸の500日」をテーマに、柴田登(拓北・あいの里地区民生児童委員)さんをゲストに行いました。参加者は13名。1995年1月17日早朝に起こった阪神淡路大震災の被害状況の調査を担当した経験と、2018年9月6日の胆振東部地震の際の対応経験にもとづき、福祉と防災は一体として考える必要のあること、民生委員は地域にあって欠くことのできない寄り添い人であること、等を気づきとしてお話しいただきました。
- ・2月例会は、15日(火)18:30-20:00、終活シリーズ第五回「ケアマネが見た拓北あいの里の十年」をテーマに、若狭敬志(愛心館相談センターレイル、主任介護支援専門員)さんをゲストに行いました。参加者は20名。介護支援専門員(ケアマネジャー)は、介護保険法(大事なことは自立支援)に従い、要介護認定を受けた利用者に対し、介護、療養、生活等に関して、相談、調整、代書、事務等をおこなう役割を担う者であるが、実際にはそれ以外にも医療、お金、住みかなど、いろいろな相談を受けていることが報告されました。

◆3月例会のご案内◆

3月15日(火)18時30分から20時頃まで、終活シリーズ第六回「このまちで共に支えた高齢者の話」をテーマに、松井崇明(札幌市北第二地域包括支援センター)さんをゲストに迎えて開催予定。地域ケア部部員、ケア施設町内会会員にはメーリングリストでZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。